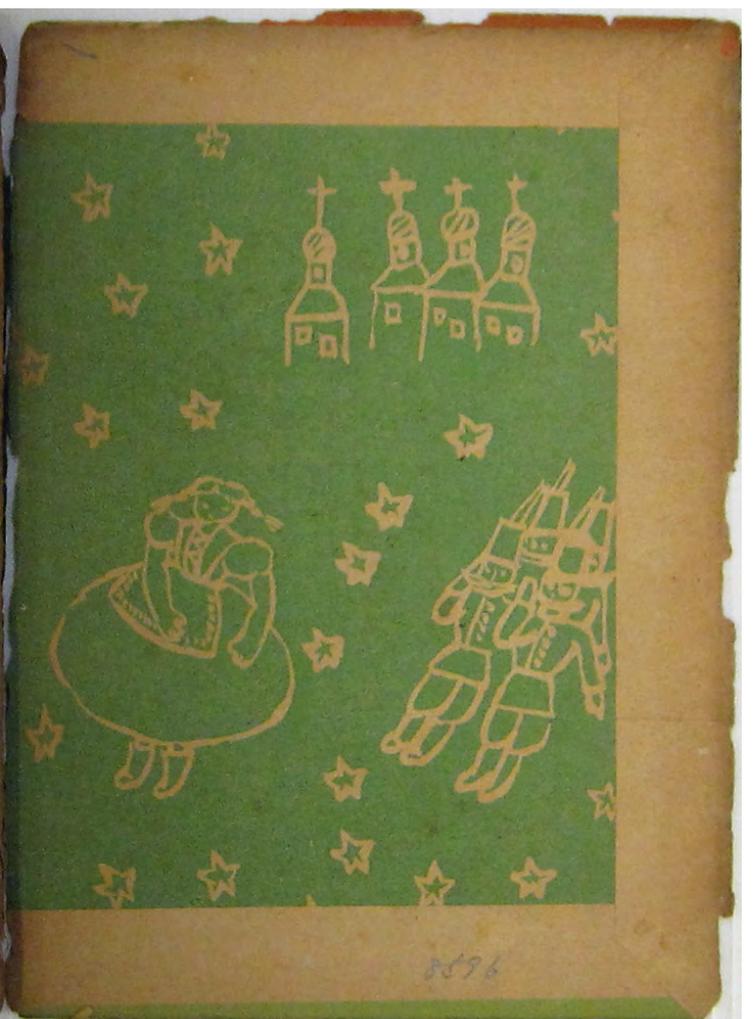
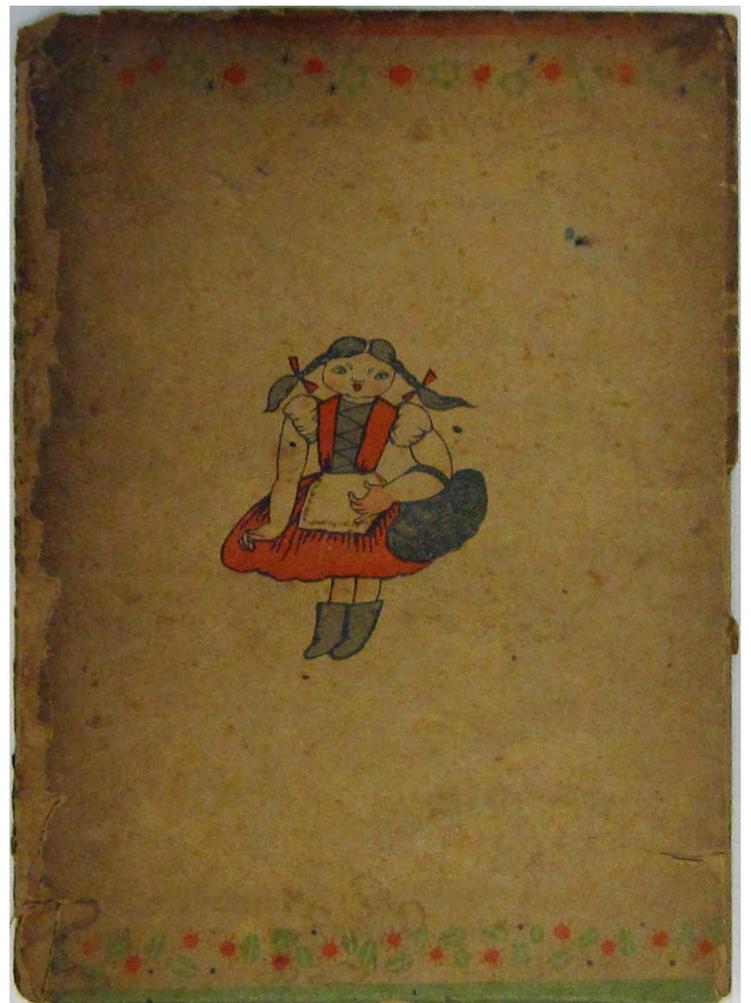
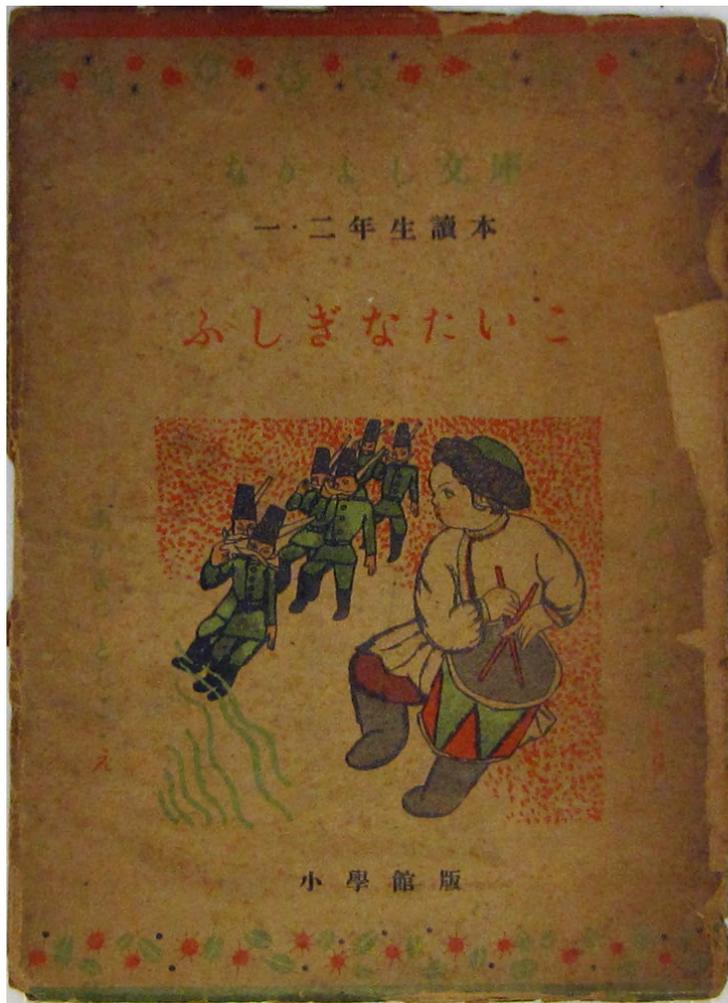
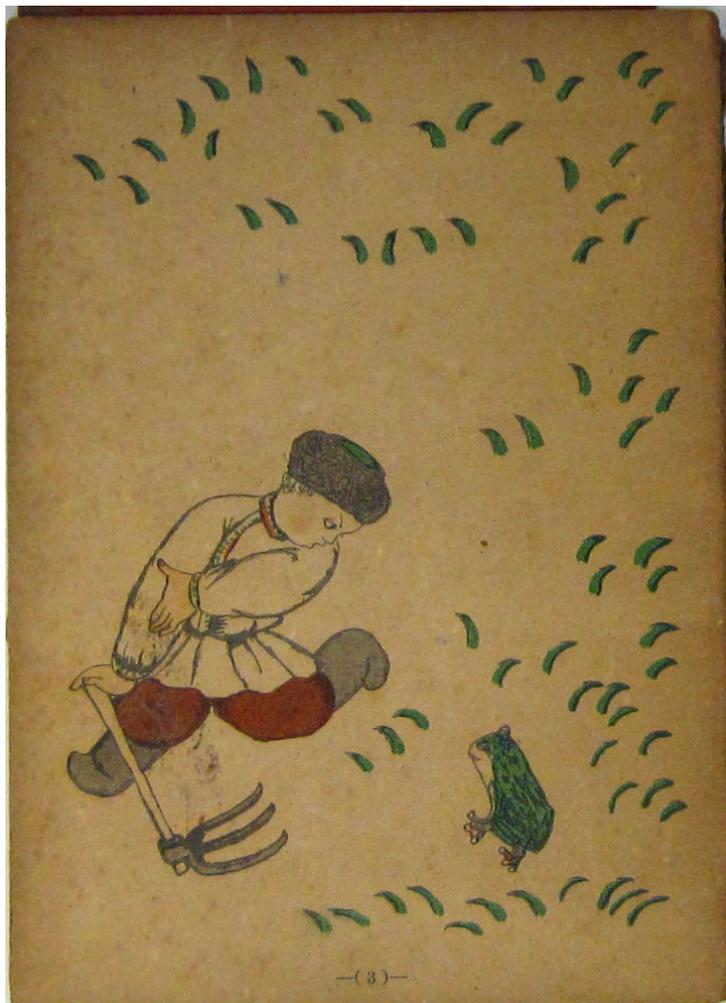


ピースあいち・メールマガジン86号(2017年1月号)「所蔵品から」画像
小学館なかよし文庫「ふしぎなたいこ」 絵アカマツ・トシコ

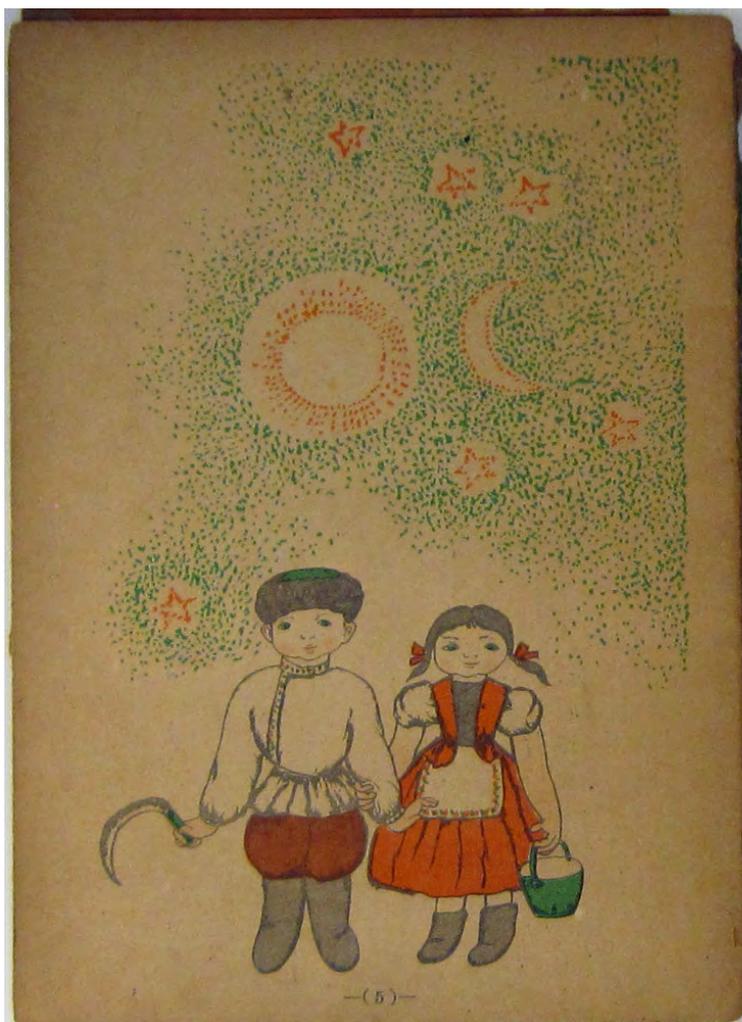




ふしぎなたいこ

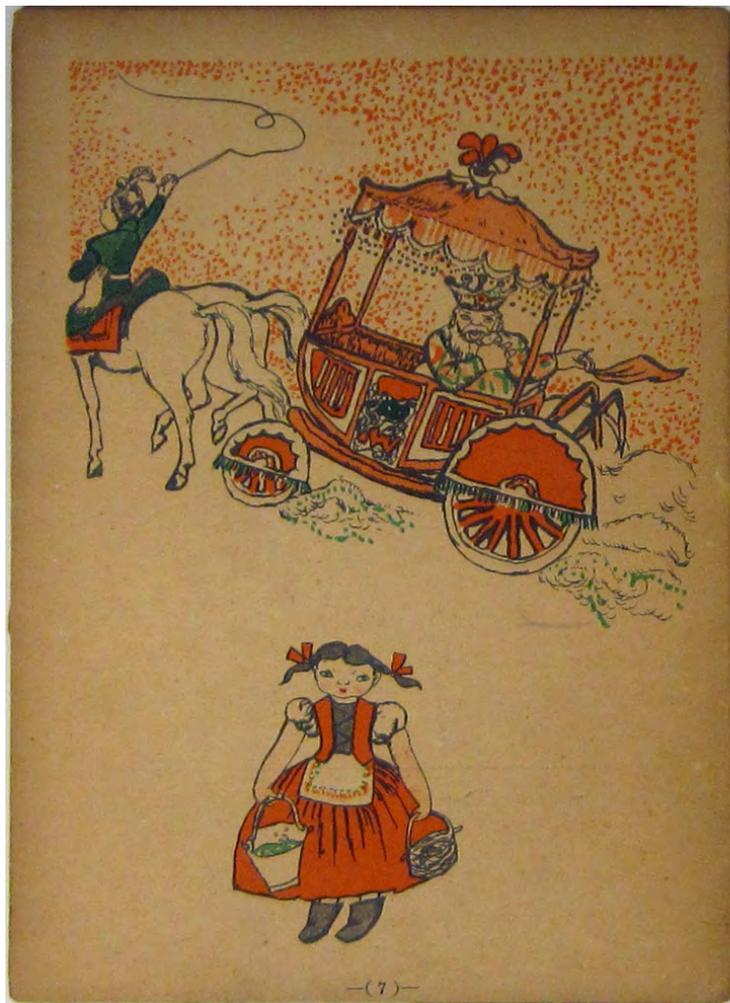
エメリアンは、しょうじきなよい男おとこでした。
 あるとき、しごくに、でかけようとして、草くさはらのなかの、み
 ちを、どおりかかりますと、あぶなく、一びきの、かえるを、ふみ
 つけそうになりましたが、エメリアンは、やっと、またいでと
 おりました。すると、とつぜん、うしろで、
 「エメリアン」
 と、たれかが、よぶ、こえが、しましたので、ふりがえると、そ
 こには、きれいな、女おんなの人が、立たって、いました。

-(2)-



きれいな、女おんなの人は、エメリアンに、いいました。
 「エメリアンさん、あたしを、およめさんにして、くださいな。」
 「およめさんに、あなたが、わたしの、およめさんになって、く
 ださるの、ですか。それは、ありがたい。」
 そう、いって、エメリアンは、さっそく、その、女おんなの人と、ふう
 ふに、なりました。そして、ふたりは、まちへ、いって、小さな
 うちを、かりて、なかよく、いっしょに、くらししました。
 すると、ある日ひの、こと、おうさまが、ばしやに、のって、その
 町まちを、おどりに、なつて、エメリアンの、およめさんの、すがた
 を、見みて、その、うつくしいのに、びっくりなさいました。

-(4)-



おうさまは ばしやを どめて、エメリアンの およめさんを
 そばへ よんで、おたずねに なりました。
 「おまえは、なにものじゃ。」
 「はい、しやうじきて はたらきものの エメリアンの つまで
 ございます。」
 それを きいた おうさまは、そのまま ばしやを いそがせて
 おしろへ おかえりに なりましたが、どうしても、きれいな エ
 メリアンの およめさんの ことを、わすれる ことが できませ
 ん。わがままな おうさまは、なんどかして、エメリアンの うつ
 くない およめさんをおしろへ よびたいと おもいました。



そこで おうさまは、けらいを よんで、
 「エメリアンの およめさんを、エメリアンから とりあげて、お
 しろへ つれてくる ほうほうは、ない だろうか。」
 と そうだんなさいました。
 すると、わるい けらいは もうしました。
 「そんな ことは、わけの ない ことで ございます。エメリア
 ンは、はたらきもの だど いいますから、ごてんへ よんで、た
 くさんの しごとを、わりに いいつけて、くたくたに なるまで
 しごとを させると、よろしうございます。きっと、つかれて し
 んで しまいます。」



つぎの 日、おうさまは、わるい けらいの ことばに したが
 って、さつそく エメリアンを おしろへ よびだして、
 「おまえは、きょうから、にわつくりの しごとを するん だ。」
 と おいっつけに なりました。
 それは、ひどい かしごとで、とても ひどりで、わりなし
 ごと でしたけれども、しょうじきな エメリアンは、いっしょう
 けんめいに はたらいて、たった 一日で、その しごとを かた
 ずけて、げんき よく、およめさんの まって いる おうちへ
 かえって、まいりました。
 およめさんは、にこにここと エメリアンを むかえました。



おうさまは、こえを ふるわせて、
 「はやく エメリアンを ころして、あの うつくしい およめさ
 んを、ごてんへ つれてきて くれ。わしは、花を ながめる よ
 うに、あの およめさんを ながめたいの だ。」
 と おっしゃいました。
 けらいは、さつそく つかいを やって、もう 一ど、エメリア
 ンを よびだして、それから おうさまに、つぎのような ごめい
 れいを おだしなさいと すすめました。
 「おしろの まえの 山へ、大きくて りっぱな お寺を たてな
 さい。ふつかの うちに たてなさい。」



つぎの、あさ、エメリアンが 目を、さま
 すど、およめさんが、くぎど かなづちを
 もってきて、いきました。
 「まあ、とにかく、おでかけに、なって、ご
 らんなさいな。」
 エメリアンが、おしろの、まえの、山え
 いきますと、そこには、ちゃんと、りっぱな
 お寺が、できていて、あとは、一本の、くぎ
 を、うちこむだけに、なっていました。エメ
 リアンは、さっそく、くぎを、うちました。



けらいは、すっかり、こまって、しまいました。
 おうさまは、いよいよ、はらを、たてて、おっしゃいました。
 「エメリアンは、しゃくに、さわる、男だ。もう、どんな、こと
 が、あっても、たすける、わけには、いけません。あれを、うまく
 やっつける、ほうほうを、かんがえろ。もし、かんがえる、ことが
 できなければ、おまえたちの、くびを、きるから、そう、おもえ。」
 たいへん、こまった、けらいは、また、エメリアンを、よびだし
 て、おうさまに、つぎの、めいれいを、ださせました。
 「しろの、まわりへ、舟を、はしらせる、ことの、できるような
 川を、ほれ。もし、できなければ、ころしてしまおう。」

